

将来世代  
応援  
企業賞

# 医療法人養和会（鳥取県）

代表者：理事長 廣江 智

所在地：鳥取県米子市上後藤三丁目5番地1

業種：医療、介護、福祉

事業内容：病院(精神科等)、介護老人保健施設等

設立年：1930年（昭和5年）



医療法人  
社会福祉法人

# 養和会



従業員数：587人（男性235人、女性352人）

URL：<http://www.yowakai.com>

## 企業の取り組み状況等

**背景** 子の看護等休暇の対象を小学校修了までに拡充しているほか、両立支援について、社内勉強会を開催しています。ノー残業デーを設定・運用しワーク・ライフ・バランスを意識した職場風土づくりに取り組んでいます。  
また、社員の家庭状況について上司の面談や社員アンケートで日頃から把握しているほか、相談窓口の予約システムを導入し365日24時間対応可能。育休中の職員に対しては毎月産後ケアサロンを実施し心身をサポートしています。

### 仕事と子育て等との両立支援の取組

#### 産後ケアの実施

- 産後、育児休暇を取得している職員を対象に、月に1度「産後ケアサロン Peaceful」を開催
- 理学療法士、作業療法士、公認心理師、看護師、健康運動指導士、総務系職員など幅広い職種の職員が連携し、産後の職員に寄り添った多岐にわたる内容で、職員の心身を手厚くサポート

#### 長期休み中の子どもの見守り

- 法人敷地内にある一戸建ての住居を活用し、小学生の春・夏・冬休み中、保育士の資格を有する者による職員の子どもの無償預かり・見守りを実施

#### 育休中の職員に向けた情報提供と相談体制

- 育休中の職員が職場復帰しやすいように、育休中も法人内広報誌の配布やグループウェアを活用した情報提供を行い、法人内の様子や制度の発信を行うことで、つながりや安心感を醸成

#### 相談しやすい環境づくりと制度の活用促進

- オンラインで家族のことや育児のことについていつでも相談を申し込めるシステムを導入
- 各種申請や職員のニーズ調査について、すべてスマートフォンで手続きができるシステムを構築、事務の効率化と利便性の向上により離職率の低下につながっている。

#### 家族手当の支給

- 0歳から24歳未満の子どもを扶養する職員に、家族手当を支給 \*16歳以上は学籍を有する必要あり

#### 子の看護等休暇

- 子の看護等休暇の対象を、法定以上の小学校修了までに引き上げ \*法定では小学校3年生まで

### キャリアアップ支援やQOL向上の取組

#### スポーツによるQOLの向上

- 職員からなる「養和会体育会チーム」を発足、野球・ローイング・陸上・ボッチャ・スキー・フィギュアスケートに挑戦する職員への支援や近隣スキー場のリフト券・シーズン利用券の配布を実施

#### 中間管理職に対するキャリア形成支援の実施

- 中間管理職に個別のキャリアコンサルティングを行い、キャリア形成をサポート

#### 資格取得のための経費助成

- 看護師や介護福祉士の資格取得のための奨学金を支給
- 認定資格を取得する際の受検費用を助成

#### 積極的な人材育成

- 職位職種に関わらず、法人内外の研修を積極的に受講し自己研鑽に努めることを推奨しており、学んだことは職場で共有するなどし、職場全体の資質とやる気の向上を図っている。

#### ノー残業デーの設定・運用

- 毎週水曜日をノー残業デーとして位置づけ、職員が互いに声を掛け合い、定時退社の定着を促進

### 地域と協働した取組（地域活動等）

#### 地域向けイベントの開催

- 例年、地域に向けた交流イベントにて、地域向け保健室の開設（専門職が子どもからお年寄りまで健康相談を実施）や、ニュースポーツ・パラスポーツ体験等、子ども・親世代の体力づくりに資する企画を実施

#### 職員の福利厚生と地域活性化

- 国内最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」の年間パスポート券利用等、地元の地域資源を活用した職員・家族のリフレッシュを促進

○ 育児休業取得率：96%（男性90%、女性100%） \*令和7年度

○ 育児休業平均取得日数：男性67日、女性307日 \*令和7年度

・2025年：鳥取県イクボス・ファミボス宣言優良企業表彰（鳥取県）

・2023年：鳥取県イクボス・ファミボス宣言企業（鳥取県）認定

・2013年：鳥取県男女共同参画推進企業奨励賞（鳥取県）

・2011年：鳥取県男女共同参画推進企業（鳥取県）認定

・2015年：鳥取県キャリア教育推進協力企業（鳥取県）認定

・2005年：鳥取県家庭教育推進協力企業（鳥取県）認定

取組

成果



### 応援しています！

多数の専門職を抱える業態を活かした産後ケアや手厚い家族手当、長期休み中無料で活用できる子どもの預かりなど、職員がサポートし合って、子育てしながら働きやすい環境づくりを力強く推進しています。取組状況は、法人の広報誌やSNSでも積極的に発信中です。これからも地域とのつながりや職員とその家族を大切に、次世代の皆様の活躍を後押しします。

### 活用しました！

育児休業中に産後ケアサロンに参加しました。もうすぐ職場復帰で少し不安でしたが、職場内にこのようなサロンができて、普段接することが少ない他部署の職員とも話ができ新しい繋がりができ、復帰に向けて安心できました。多職種の職員で産後ケアチームが作られているので、いろいろな相談ができてよかったです。子どもを見てもらっている間にヨガや勉強会など自分だけの時間を気兼ねなく過ごすことができるのでリフレッシュできました。

